

令和 6 年度第 1 回南箕輪村持続可能な自治会検討委員会 議事録

- 1 開催日時 令和 6 年 7 月 16 日（火）午後 7 時から
- 2 開催場所 南箕輪村役場 講堂
- 3 開会
- 4 委員長あいさつ
- 5 村長あいさつ
- 6 令和 5 年度検討内容経過報告
- 7 ワークショップ
自治会運営業務課題の洗い出し・発表
- 8 今後の開催日程
- 9 次回の日程
日時 8 月 21 日（水） 午後 7 時
場所 講堂
- 10 その他
- 11 閉会

12 出席検討委員

西森一博	征矢 章	河野道夫	山田 茂
唐澤正吉	篠澤 哲	中山 隆	植田 学
小出俊一	志野英男		

13 出席検討補助委員

木下 茂	三澤 稔	大日方音巴	瀧澤婦美恵
------	------	-------	-------

14 欠席検討委員

山本ゆかり			
-------	--	--	--

15 村長

藤城栄文			
------	--	--	--

16 副村長

田中俊彦			
------	--	--	--

17 出席事務局

高橋里江	東澤規江	山口みずき	
------	------	-------	--

18 欠席事務局

--	--	--	--

19 一部参加

--	--	--	--

高橋里江	会議次第 1. 開会 皆さん、こんばんは。定刻よりも少し早いですが、皆様おそろいですので、始めたいと思います。 開会に先立ちまして、今回こちらの持続可能な自治会検討委員会は所管が総務課から地域づくり推進課へと変わり、初めてお目にかかる方もいらっしゃると思いますので、ここで自己紹介をさせていただきたいと思います。私、地域づくり推進課長の高橋里江でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
東澤規江	地域振興係長の東澤と申します。4月から担当になりました。よろしくお願いいたします。
山口みずき	集落支援員の山口です。昨年度から引き続き今年度もよろしくお願いいたします。
高橋里江	ありがとうございました。それでは、ただいまから第1回南箕輪村持続可能な自治会検討委員会を始めたいと思います。それでは、委員長、あいさつをお願いいたします。
征矢章委員長	会議次第 2. 委員長あいさつ こんばんは。今年の2月22日に最後の5回目の会議があり、それから5か月近くたち、新しい年度がスタートしました。区によっては事務的なものが若干動き出している区もあるようですが、また改めて今日はいろいろなテーマについて話し合っていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
高橋里江	ありがとうございました。続いて村長、あいさつをお願いいたします。
藤城栄文村長	会議次第 3. 村長あいさつ 皆さん、改めましてこんばんは。今年度も持続可能な自治会検討委員会にご参画をいただきまして、誠にありがとうございます。昨年度を振り返りますと、当委員会では行政協力業務を中心に変革を進めることができたと思います。資源ごみの立会い、広報紙の配布、また区長の業務等はこの委員会の議論をきっかけに大きく負担軽減につながったと思います。また当委員会の活動は、公に広報されたことによりまして、地区によっては自主的に変革を進める流れができてきているという話も聞いております。このような流れができています中ではありますが、自治会については、役員のなり手不足をはじめ、女性の活躍、組の再編、加入金、区費など、様々な話題が尽きないところでござい

高橋里江	ます。根本的な話になるのですが、地方で幸せに暮らしていくためには、私は、人と人とのつながり、そして自然とのつながり、そして地域とのつながり、このようなことは欠かせないと思っております。特に自治会は地域コミュニティの中心・基本であり、自治会が持続可能なものになるための対策には、例えば労力をかけたり予算を投じていく必要があると思います。この地域で幸せに暮らすためには、時代に合った形、10 年先を見据えた形にしっかりと変革を進めていくためにも、今年度も引き続き、皆様から活発なご協議をしていただくことをお願いし、簡単ではございますがあいさつとさせていただきます。ありがとうございます。それでは会議次第の 4 番・5 番につきましては委員長の進行でお願いいたします。
征矢章委員長	会議次第 4. 令和 5 年度検討内容経過報告 はい。それでは、令和 5 年度検討内容の経過報告ということで、事務局のほうからお願いいたします。
高橋里江	はい。それでは令和 5 年度の検討内容経過報告をさせていただきますが、その前に皆様に 1 つご報告がございます。この度、新しく委員をお引き受けくださる方がいまして、北殿区の山本ゆかりさんに、今日付けで委嘱をしました。今日はあいにく都合が合わず欠席ですが、次回からご参加いただきますのでご承知おきください。 それでは、令和 5 年度の検討内容経過報告を説明させていただきます。昨年、『持続可能な自治会の運営を目指して』というすばらしいパンフレットができ、全戸配布をしました。これは、委員の皆様のお力によるものと非常に感謝しております。ありがとうございます。そこで、2 月以来久しぶりの集まりということ为先ほど委員長から聞いたところですが、このパンフレットを出した後、現在どのように進んでいるのかということ今日の会議の前に少し報告したいと思います。まず、衛生部のごみ収集の立会いについては、現時点では田畑区のみが外部委託を行っています。ただ、田畑区は以前から外部委託という形を取っておりますので、引き続きということになります。10 月からは全ての地区で外部委託をする予定でございます。続いて、広報紙の配布・回覧周知については、これから塩ノ井区、南原区、大泉区で広報紙のデジタル化移行に関するアンケート調査を行う予定です。一応 7 月末ぐらいにはということを担当の方では申ししておりました。このアンケート結果を基に、今後のデジタル化移行への方向性を決定していきます。また、広報紙の配布につきましては、11 月号の広報紙

	から全戸へ村が直接配布を行う予定です。続きまして、各種部長と委員の推薦についてです。現在、各部で見直しの検討を進めているところです。まず、村の交通安全協会についてですが、女性部につきましては、令和7年度以降は各地区での女性部員の選出を行わない予定となっております。そして、区長会長や区長に依頼する委員ですが、区長会長へは、従前は18個もあったところを今年は5個に減らしました。副区長会長に依頼する委員も5個から3個に減りました。全ての区長に依頼する委員についても、7個あったものが2個まで減ったということになっております。この点につきましては、随分区長の皆様方の負担軽減につながったのではないかと考えております。また、区長会から選んでいただく委員は5個から11個に増加しましたが、これは、区長会長や副区長会長が担っていた委員を他の区長の皆様に振り分けたためということになりました。そのため、今、各区の区長さんたちは、最低でも2つは委員や役を持っているというような形になっております。それから、区長の役場問い合わせ窓口一元化ということで、今年度4月から、区長の問い合わせや各課への提出書類などは地域づくり推進課に窓口を一元化しています。こちらも随分浸透してきた感じがありますので、その点も少し推進してきたところかと思えます。令和5年度の検討内容経過報告については以上です。
征矢章委員長	ただいまの説明につきまして質問などありましたら、挙手をお願いいたします。
山田茂委員	各種部長と委員の推薦について、交通部と防犯部はどういう状況でしょうか。
山口みずき	はい。交通部と防犯部については上部団体がありますので、打ち合わせをしながら削減していく方向ですが、現時点ではまだ決まっていません。
山田茂委員	今年の2月、全体会議の最終の時に確認したら、今年の10月ぐらいまでには結論が出るというお話だったのですが、それでいいですか。要は、来年の役員を選出するまでに決めなきゃならないということですが。
山口みずき	今のところ令和7年度については、安協の女性部以外については今年度と変わらず選出していただくような形になると思いますが、これから引き続き検討をしていきますので、よろしくお願いいたします。
征矢章委員長	他にありますか。ないようでしたら、次に進めていきたいと思えます。ワークショップ自治会運営業務の課題の洗い出し・発表についてローカルライフさんお願いいたします。

松澤清和	会議次第 5. 自治会運営業務の課題洗い出し・発表 改めましてこんばんは。ローカルライフの松澤と申します。本日もお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。そして、今年度も本業務に携わらせていただくことになりましたので、よろしくお願いいたします。今、昨年度のお話がありましたが、私たちもこの業務を通じて近隣の行政の皆さんからの反響が多く、南箕輪でやっている自治会の検討はどうなっているか、というお話を伺う機会が多くあります。注目されている内容なのかなとも感じております。その中で今年度は昨年行政協力業務に続いて、自治会自体の課題解決のガイドラインを作りたいと考えております。今回のガイドラインを作るにあたり、最初に前提として、財産区や神社のことにしましては、少し各区の自治会の運営とは違う部分もありますので、今日の議論から外して考えていただきたいと思います。また、インフラの関係、先ほど衛生の話もありました、土木の関係は昨年度、行政協力業務のほうでのご検討いただいたので、そちらも今回の内容からは外していきたいと思っております。他団体の業務につきましては、役場で各課と他団体でやり取りをしてから皆さんにご提示をして検討していただこうと考えていますので、今日のワークショップの内容からは外していきたいと思っております。今年の成果物は、自治会の課題解決のヒント集みたいなものを作りたいと思っています。そちらはあまりイメージを今日の時点で固定したくないので、皆さんに形としてはお見せしてないですけども、大きなイメージとしては、例えば、高齢者の方が区から脱退するといった課題が仮にあるとします。その中で年齢による役員や作業の免除を、1つのヒントとして出す。そういったいろんなパターンのものがそれぞれあって、区の大きさや各区の課題を踏まえた上で、各区の皆さんにヒントとしてお渡しするガイドラインになります。各区で使うか使わないかはそのあとの話になりますが、参考にして区の運営を来年度から進めていっていただきたい。そのためのヒント集を作ることを今年度のガイドラインとしての最終的な目標にしたいと思っております。今日は、まずそのための区の悩み事をもう1回洗い出したいと思っております。A3サイズ紙の左上に『各区の課題共有』とある紙を見ていただくと、昨年度各区からアンケートを取りまして、皆さんにも去年この資料をお配りしております。まず一番左側から順に役員関係の課題、区外・組外の対策ということで組の加入に関する課題、高齢者関係の課題です。高齢者の区からの退会や、
-------------	---

	組自体の高齢化が著しい組があるという課題、次は組の再編の話。組の人数が小さい大きいにかかわらず同じ条件になっているという中で組の再編の話。その横が区に加入するときの加入金や区費、経済的な負担の話、次が組外のコミュニティの希薄化の話、次が人材の掘り起こしのお話、と横列を作り、縦列に各区のそれに対する問題点と解決策、取組みをここに書かせていただきました。この中にある青い字は昨年検討した行政協力業務に関する内容で、かつ自治会運営業務に内容が一部重複する部分ということで載せてあります。昨年度検討した衛生や配り物の関係、DXのデジタル化の関係に関しましては、今回のこちらの表からは外しております。次のページが、昨年度の1回目のワークショップの内容を、同じ項目でまとめたものです。昨年度も1回目の時に、似た内容の検討をしていただいております。その時は行政協力業務のほうにお話を持っていくということで、お話は出していたいたのですが、出したままで終わっているといったような状況です。今回、こちらも参考にさせていただきながら、今年度は、この内容をより具体的に深めながら、解決策を考えていきたいと考えております。3枚目が地域認識と防災の課題です。まず、一番左側は区の境界とか古くからこの地域に暮らしている方と最近移住された方との認識の違いのお話が出ております。真ん中は防災の関係です。地域の防災意識で、防災意識が高い方もいらっしゃる一方で、大半は防災意識がまだ希薄であるといったような課題も挙げられています。次の列は消防団の団員不足が大きな問題となっているというようなお話をいただいております。昨年度出していただいたこれらの課題を参考にしながら議論を進めていきたいと思っております。もう1枚、A3の横長の『年間スケジュール』と書いた紙がございます。こちらも参考に見ていただければと思います。こちらの紙は各区から総会の資料をお借りしまして、総会の資料にある事業報告や事業報告がない地区に関しては、事業計画の中にあるスケジュールを参考に書いております。そのあとに役場の皆さんからご協力をいただきまして、わかる範囲で内容を少し整理しております。こちらも足りないことがあるかと思っておりますので、話し合う中でこんなこともあるよといったようなご意見があれば、教えていただければと思います。各区重複している部分もありますので、そちらも併せて参考に見ていただければと思います。一番最後のページ3枚目の一番下に、全区という形で、それぞれ全部の区が関わるであろう内容についてはこちらに記載しております。また地区の総会などはわかる範囲での記載になっておりますの
--	--

	で、無い区もありますが、ご了承いただければと思います。それでは、本日のプログラムに入りたいと思います。A4の紙をご覧ください。 ①ワークショップの説明ということで、内容の共有をさせていただきました。②自治会運営の悩み事を洗い出すということで、ワークショップの内容を説明します。今回の持続可能な自治会検討委員会は、自治会運営業務について検討します。区によって自治会運営の悩み事は様々です。それぞれの区で抱えている悩み事や課題、ご自身が経験した自治会活動における課題を洗い出します。それぞれの地域における課題を、先ほど見ていただきました『各区の課題共有』と『年間スケジュール』を参考にいただきながら、お手元にお配りした黄色い付箋に、1人3枚以上、1つの付箋に1つの内容を記入してください。その後にグループの中で発表をしていただき、前回と同様にグルーピングをしていきます。これは、昨年度のまとめの中に入っている内容でも構いません。重要なものは重複していても、今回改めてきちんとまとめていきたいと思いますので、内容は被っていたとしても、ぜひご記入ください。年間スケジュールのほうは、時期によって役員の方の負担が大きいように思えます。そのようなことも踏まえて、課題になっているところがあれば、そちらも教えていただけたらありがたいです。時間はおおむね1時間この検討をして、8時15分から20分ぐらいにグループごと発表して、8時半終了を目標に作業を進めたいと考えております。では、5分ぐらいお時間を取りますので、お手元の黄色い付箋に各地区の課題をご記入いただければと思います。できるだけ細かくたくさん書いていただいて大丈夫です。それではよろしくお願いいたします。 (ワークショップ)
松澤清和	はい、それでは議論が尽きないところではありますけれども時間になりましたので発表に移りたいと思います。まずは2班からお願いします。
西森一博委員	では2班から発表させていただきます。いろいろな意見が出ました。役員のなり手不足、住環境の問題や加入金を取るか取らないかという問題。区の加入者が減っている問題。区に入る人、入らない人でそれぞれメリット・デメリットがあるが、区に入っている人が役員をやらなければならない、作業に出なければならないといった不公平感がある。では区に入るメリットは何なのか、というのが明確化されていな

松澤清和 山田茂委員	いという問題があるのではないかと。案として出たのは、住環境を整えていくのは住民の力でやるべきであるという点でいうと、防災・防犯・衛生、あとは区に関する情報の共有、それらに特化することによってメリットが生まれるのではないかという意見が出ました。あと、若い方が加入されてこない問題に対しては、デジタルをもっと活用して若い人たちが加入しやすい環境を整えていくことが大事ではないかというご意見も出ていました。 はい、ありがとうございます。続きまして1班お願いします。 それでは1班の発表をさせていただきます。いくつか課題が出てきました。区に加入しない、区から出てしまう。役員のなり手が無い。人数の少ない組と多い組のアンバランスがある。最後に、公民館活動のうまい使い方。区に入るメリットは何か、なかなかメリットは答えられない。だが防災などを考えるとコミュニティのつながりは一番大事なのだがそこまでなかなか説明がいかない。となると、行政のほうで何か差をつけられないものか。区だけで考えていてもなかなか入る人がいないので。区でやれることは、区のイベントを増やすことで人のつながりを増やすことしかないと思うが、なかなかうまく回っていかない。高齢化で区から離脱してしまう人も多い。理由としては高齢で役員ができない、ご主人を亡くしてひとりではできない、ということ。そういう方々を区・組で支えて支援する方策はないか。例えば役職定年のようなものを考えてもいいのではないかという案も出ています。それから組のアンバランスの問題があります。少人数の組は役員の回り方が早く不公平。組を統合してほしいという意見も出ています。組の再編は私の区でもすすめてみましたが、各組の事情もあって難しいです。組の歴史もあるし、組の置かれている状況、組費を取っている取っていないなどいろいろな条件があり、組の統合というのはハードルが高い。一長一短で決められないので、まずは不公平感をなくすために人数の少ない組と例えばその隣の組と役回りを一緒にするなど、少ない組を周りの組で支援するという方法は一つの案として出ております。公民館活動のうまい使い方については、区に加入しないというところに結び付いてくるのですが、いろんなイベントをすることによって人のつながりを持てるということが、公民館活動の重要な役目だと思う。役のなり手が無いというところでは、ある区では5年くらいずっと役をやり続けなくてはいけなかった区もあるようで、代理をやったら次は区長になるところが、代理のなり手がなかなかいないと。結局、役のなり手が無いので、ここは非常に難しいです。そのようなことが
-----------------------	---

松澤清和	課題として挙がりました。
高橋里江	はい、ありがとうございました。今日皆さんに課題を出していただき、解決策も少しずつですが出ています。次回からは、これをそれぞれの分野に分けて、より具体的な検討と課題解決の案、またそれに関する議論をしていきたいと思います。では、5 番のワークショップはこれで終わりにしたいと思います。ありがとうございました。
山口みずき	ワークショップお疲れさまでした。それでは、今後の開催日程について事務局から申し上げたいと思います。
山口みずき	会議次第 6. 今後の開催日程 会議資料 4 をご覧ください。本日第 1 回目の検討委員会が終わり、次回 2 回目が 8 月 21 日、3 回目が 10 月 1 日、4 回目が 11 月 26 日、最後第 5 回目が 1 月 21 日となっております。自治会運営業務のガイドラインを作成するにあたって、今後は区長会にも諮ってまいりたいと思います。以上です。 令和 6 年度開催予定日 第 1 回 7 月 16 日 (火) 第 2 回 8 月 21 日 (水) 第 3 回 10 月 1 日 (火) 予定 第 4 回 11 月 26 日 (火) 予定 第 5 回 1 月 21 日 (火) 予定
高橋里江	では 7. 次回の日程について続けてお願いいたします。
山口みずき	会議次第 7. 次回の日程 日時は 8 月 21 日水曜日午後 7 時から、場所は講堂になります。来月もよろしく願いいたします。 日時 8 月 21 日 (水) 午後 7 時 場所 講堂
唐澤正吉委員	ちょっと要望がありますが、いいですか。今回の事前の資料配布、それから何をやるかというプログラム、それがわかったので心の準備ができました。去年はその場で資料が配られてそれを読むという形で年寄りには大変でした。今回のような準備で事前に資料をいただくと

山口みづき	でも助かります。今日はありがとうございました。 ご意見ありがとうございます。今後も事前に資料をお配りしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
高橋里江	日程につきまして委員の皆様から何かございますか。よろしいでしょうか。
高橋里江	会議次第 8. その他 それでは次第 8 のその他ということで、どんなことでも構いませんが委員の皆様から何かありますでしょうか。要望などでも構いません。
志野英男委員	2 班の発表の中で、こういう活動をしているので目標値を設定したほうがいいのではないかという意見がありました。役場の人口ビジョンに出ている世帯数と各区の加入数を割ると 62.3%になりました。持続可能ということを村長はおっしゃっているので、例えば 5 年後に 5 ポイント上げるとか 10 年後には更に 5 ポイント上げるとか目標設定が必要なのではないのでしょうか。いろいろ活動したけど加入率は低くなったでは、おかしいことになってしまうので考えたほうがいいと思います。
藤城栄文村長	今、村の一番の上位計画で総合計画というものがありまして、そこで出しているのかな。
高橋里江	そうですね。今、第 5 次総合計画の期間中なのですが、そこでも区の加入率の目標数値を設定しているのですが、第 6 次総合計画を作るにあたっては数値が上がるように目標を設定していくと思います。
志野英男委員	今いくつに設定してあるかわかりますか？
高橋里江	今、戸建て世帯の区加入率を 90%に設定しています。
志野英男委員	戸建て世帯のみ？全体ではないんですね。
高橋里江	はい、戸建て世帯の加入率で、アパートは抜いてあります。 他の委員の皆様はいかがでしょう。来月の会議を待たずに何か思いついたことがありましたら、電話・メールなどでもご連絡ください。
高橋里江	会議次第 9. 閉会 以上で第 1 回南箕輪村持続可能な自治会検討委員会を終了いたします。ありがとうございました。